

おかもと陽子通信

公明党 宗像市議会議員 おかもと陽子

連絡先

〒811-4163

宗像市自由ヶ丘7-6-1 0940-25-5344

mail:taiyoudaisukinayoko@gmail.com

<http://www.okamoto-youko.jp/>



ホームページ QRコード



おかもと 陽子

通

信



公明党女性局の活動

市が「コロナ禍の差別をなくしたい」との思いで推進する

シトラスリボンプロジェクト in おなかに参加



宗像市公明党員らで作るボランティアグループ「宗像白ゆりの会」(森早苗代表)はこのほどコロナ禍における感染者などへの差別防止を目指す「シトラスリボン」のキーホルダー50個を作成し市に寄贈した。これからも続けていく。

～思いやりを広め、差別をしない雰囲気づくりを～



2021

VOL.33

6月度定例会報告

- 一般質問
- 令和3年度一般会計補正予算
- 新型コロナワクチン接種対策

15歳～64歳ワクチン接種開始へ

- 女性局“シトラスリボン運動”の取り組み

コロナ禍でもできることに挑戦!!

●メイトム宗像+ラインで
議会報告会

7月15日(木) 19時30分

●赤間駅南口での駅頭
毎週月曜日7時～

●街頭演説
緊急事態宣言解除により再開

1回/月、市内4カ所

●市民の小さな声を聴く力
市民相談

これまで受けた市民相談は
1,573件

守りたい!地域の生命
あなた
生活を!

動画「九州公明ニュース2021」
いよいよ配信!

山口那津男代表が「大衆とともに」との信念で未来への展望を熱く語ります。議者による期待の声や、公明党議員の活躍の様子も収録。ぜひ、ご覧ください。

動画はこちらから



一般質問



医療的ケア児、家族に適切な支援を

※医療的ケア児とは、経管栄養や人工呼吸器装着など
医療行為が日常的に必要な子ども

Q) 国と自治体が医療的ケア児と家族に適切な対応をとる責務を明記した医療的ケア児支援法が令和3年6月11日参院本会議で全会一致により成立した。本市の医療的ケア児の現状と課題は何か。医療的ケア児を介護する家族を支援するための医療的ケア児在宅レスパイト事業助成金の交付、実施要綱の作成をする必要があるのではないか。

A) 現状と課題は、宿泊型の短期医療型入所事業所がないこと、訪問看護の時間が医療制度上、一回一時間半に制限されていることである。医療的ケア児の保護者への聞き取り調査によると、医療的ケア児在宅レスパイト事業助成金の活用を望む声が上がっている。実施要綱作成とともに令和4年度からの実施に向けて検討を行う。

障がい者紙おむつ支給に対する見直しを

Q) 本市の障がい者紙おむつ支給対象は、脳性麻痺に限られている。近隣市では脳性麻痺等の脳原性運動機能障害と示され、支給対象の幅が広い。自治体ごとに支給対象が異なる状況がある。本市においても支給対象の見直しが必要ではないか。

A) 必要とする対象者にサービスが届くように対象者の拡大を検討する。

市内小中学校教職員が働きやすい環境整備を

Q) ベテラン教員の大量退職に伴う若年層教員の増加や、配慮を要する子どもたちの増加により、教職員の抱える課題は年々多岐にわたっている。このような課題を解決するために、教職員を取り囲むスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学園コーディネーター、発達支援センター、児相、スクールサポーター及び警察の活用強化による教職員の支援体制を一層充実させる必要があるのではないか

A) 新任教員、若年層教員に関しては学校と協力・連携を行い、個に応じた支援を行っている。スクールソーシャルワーカー他、家庭内における問題に関して必要な役割が何かを考え連携を図っている。学園コーディネーターに関しては、必要な外部機関との連携調整の業務を行っている。必要に応じて、必要なタイミングで効果的な連携が図れるよう、学校を支援していく。

令和3年度一般会計補正予算

(第3号) 新型コロナウイルス感染症対策に係る予算を計上。

地方創生臨時交付金、国庫補助金を100%充当する。

(歳入歳出9,790万8千円増額。354億2,837万1千円とする)



- 公共施設の感染症対策経費: 保育所、病児保育事業対策経費(1,465万円)
- 感染防止に配慮した相談体制の整備: DV、虐待相談支援体制強化(76万円)
- 感染者等への生活支援: 保護者が新型コロナウイルス感染症に感染し入院、宿泊施設での治療、療養が必要になった3歳以上18歳未満の養育が一時的に困難となった家庭に対して社会福祉協議会と民間宿泊施設の協力により子ども一時預かり事業を実施(588万6千円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種への対応: 集団接種会場への交通利便性向上のため、ふれあいバスの臨時運行及びJR東郷・赤間駅から会場へのシャトルバスを運行(1,229万7千円)
- 児童生徒の学びの保障: (6,431万5千円)
 - (1) 遠隔授業に対応するため、市内小中学校12校の通信回線増強、タブレット端末の追加購入などICT環境を整備
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行を中止した際に発生するキャンセル料を補助
 - (3) 教育サポート室「エール」において、学校と同じ環境で授業を受けられるように必要な機器と環境整備

(第4号) 生活困窮者対策として、歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ5,689万7千円を増額、

354億8,526万8千円とする。(全額国庫補助)

- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金: 約232世帯分
感染症蔓延長期化に伴い、総合支援資金の再貸付を終了したなど一定の要件を満たす生活困窮世帯に対する支援策として新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金3か月間最大30万円支給する予算を計上する。

今後の新型コロナウイルスワクチン接種計画(16歳～64歳以下接種開始)

スマホでの予約困難な方への対応 市役所1階ロビー、毎月第1、第3月曜日 9時～12時、13～16時に対応	(7月下旬までに接種完了するもの) 高齢者施設従事者 (優先接種対象者)
(65歳以上の高齢者接種) 7/1時点で集団、個別接種 1回目17,000人、2回目5,100人終了 7月下旬までには、接種したくない、最初の予約日のままでよいという高齢者を除き、高齢者3万人のうち2万4千人接種終了を目指す (16歳～64歳の接種: 7/10 接種券配布開始) 7/20～予約、10月下旬終了予定	(8月中旬までに接種完了するもの) 小中学校教職員、幼稚園、保育士、学童職員、 塵芥、し尿、火葬関係者、コロナ対応にかかる行政職員、消防隊員、オリンピック対応者(グローバルにてロシア7人制ラグビー代表、ブルガリア柔道代表トレーニングキャンプ地としての受け入れを行う為) (高齢者以外で基礎疾患有する者(自己申告))